

(小新自治会地内 西川右岸)

ウィズコロナ・ポストコロナ時代に向けて

平素は小針小学校区コミュニティ協議会にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、令和3年度も新型コロナに明け暮れた1年でした。このような厳しい状況のため、前年度と同様に大半の事業が残念ながら中止となりました。

そんな中、3密を避けて8月に開催された「親子プログラミング体験会」は受講者の皆さんから次回も開催して欲しいなどと大好評でした。また、同様に9月、10月に開催された「元気いきいきウォーキング講座」も、参加者の皆さんから健康寿命の延伸などに多くの関心が寄せられました。

2月から3回目のコロナワクチン接種も進んでいます。令和4年度がウィズコロナ・ポストコロナ時代に向け、各種事業の再開が叶う再出発の新年度になるよう祈願しています。



副会長 北村 正美

講演会 新型コロナウイルス感染症との戦い

日時 令和3年12月7日(火) 10時~12時

会場 西新潟市民会館 多目的ホール 参加者 72名

講師 新潟医療センター 吉澤 弘久 病院長

2020年1月に日本で最初の新型コロナウイルス感染症が確認されてから既に2年が経過しましたが、未だ収束は見えぬ感染症との戦いは続いています。

本講演会では新型コロナウイルス感染症を正しく理解することを目的に、JA新潟厚生連新潟医療センター病院長の吉澤弘久氏より、「新型コロナウイルス感染症との戦い」をテーマにお話しいただきました。

新型コロナウイルス感染症の発生の経緯や感染者数の第5波までの推移、ウイルス変異の仕組み、ワクチンや治療薬の効果や副作用など様々な内容を分かりやすくご講演いただきました。また、新潟医療センターにおける早期からのPCR検査の積極的な導入、感染者専用病棟での感染防止対策について動画を交えてご紹介いただきました。最前線の治療の詳細を知り、改めて医療従事者の方々に感謝するとともに、地域にこのような病院があることを心強く感じました。

感染症との戦いは今後も続きますが、正確な知識や情報をもって過度に恐れず、手洗いやマスク着用などの基本的な対策を徹底することが重要であると感じました。

福祉部会 阿部 いずみ



講演会参加者アンケート結果(抜粋)

- 吉澤先生のお話、とても分かりやすくて良かったです。
- 大変分かりやすく説明していただき、有意義な講演でした。
- マスコミ等での情報で知識を得たのとは違い、直に聞かせて頂けたことで安心すると同時に、これからの心がけの大切さを新たに教えていただきました。
- 今日の話で、コロナをむやみに怖がることなく、自分でできる、うつらない、うつさないための行動を徹底したいと思いました。
- 日々の医療対応に感謝申し上げます。頼もしい地域医療のあり方が分かりました。
- 新潟医療センターが地域で誇れる大切な病院だと感じました。
- 医療従事者の方々に感謝しております。



小針地区社会福祉協議会の紹介

当協議会は、西区社会福祉協議会の事業を推進するため、小針コミ協に加入する自治会などが行う社会福祉事業の健全な発展と社会福祉活動の支援と推進を図ることを目的として、令和3年4月1日に小針コミ協内に設置され、事業を開始しました。

なお、令和3年度は下記の自治会に助成しました。

世代間交流事業 「歳末もちつき大会」

世代間交流として毎年行っている歳末もちつき大会を12月5日(日)に開催しました。今年度はコロナ感染対策を徹底し内容を変更しての開催となりましたが、老若男女78名が参加し楽しい時間を過ごしました。

小新第二自治会 成年部長 樋浦 義成



夏休みビンゴゲーム大会を 開催しました♪

毎年冬休みに開催しているビンゴゲーム大会を、今年度はコロナウイルス感染症を考慮して、夏休み(8月4日)に旧小針野球場をお借りして開催しました。

当日はとても暑い日でしたが、芝生の上に張ったテントの中はとても心地よく、子どもから大人まで一緒にビンゴゲームを楽しむことができました。

番号が読み上げられるたびに歓声が響き渡り、笑顔あふれる世代間交流となりました。

子ども達には夏休みの楽しい思い出ができました。

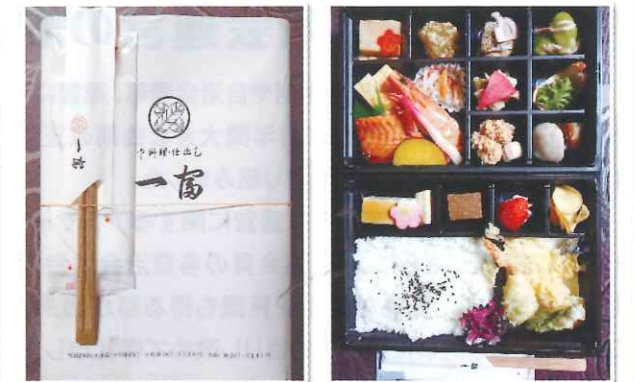
[参加人数:157名]
小針1丁目自治会
育成部長 川瀬 恭子



地域のお店応援& 地域活動支援者感謝事業

12月25日(土)に地域のお店応援&地域活動支援者感謝事業を実施しました。「地域の茶の間」「ラジオ体操&朝カフェ」「スマホ教室」「友愛訪問」など地域活動の参加者や貢献者の方々に、日頃の感謝を込めて、自治会の会議やイベント開催でお世話になっている地域のお店のお弁当を、一部自己負担で提供しました。

東小針自治会 会長 北村 正美



小針幸町自治会 「敬老の日お祝品贈呈」事業

小針幸町自治会(600世帯弱)では敬老の日のお祝い事業として、毎年、自治会内の77歳以上の希望者にお祝品(赤飯)を贈呈しています。

令和3年度は9月20日朝9時に、町内の和菓子屋さんから折箱入りの出来たての赤飯を受取り、各ブロックの副会長が149人の方にお祝いの言葉を交えながらお届けしました(当自治会はA~Fの6ブロックに各一人の副会長)。

また、この事業は高齢者の方とお会いする良い機会でもあることから、高齢者の地域見守り活動の一つでもあると思っています。

今後とも自治会会員の意見を反映した取組みを続けて行きたいと考えています。

小針幸町自治会
厚生部長 渡辺 俊和



ミニ区政懇談会が開催される

令和4年2月26日西区役所健康センターにおいて、西区笠原区長他関係者とコミ協三役でミニ区政懇談会を開催しました。懇談会の内容は下記のとおりです。



① 前回の区政懇談会の要望事項の進捗状況の説明

- ①(要望事項)西川右岸小新自治会内の遊歩道一部無整備について
(回答) 河川管理者(県)に要望しましたが現段階での実現は難しい状況です。
- ②(要望事項)小針1丁目自治会内の用水路の環境整備について
(回答) 用水路の維持管理は新潟市ですが環境管理(堆積物、雑草、ごみ類)は自治会対応をお願いします。

② 区ビジョンまちづくり計画について

- ①次期西区区ビジョン基本方針(案)の説明と質疑応答
- ②(要望事項)近年の降雪時に私道除雪を業者が断るケースが多い。また、費用が増加傾向になっているので、補助金等の支援を検討して欲しい。
(回答) 私道除雪は現行の補助金制度をご利用ください。事業者等の情報提供に努めます。

自治会活動の紹介

持続可能な自治会運営の取り組みを目指して

当自治会は、以前より役員体制や自治会費等、運営に関わる議論があり一部見直しを図ってまいりました。過去10年間大きな会則改正が行われていないことから、今年度は見直しの機会と捉え取り組みました。

まず、当自治会員の皆さんに運営に関するアンケートを実施し、広く意見や要望を集約しました。さらに、コミ協会員の各自治会の会則も参考にすべくアンケート調査をお願いし、貴重な情報や見識も得る事が出来ました。多くの自治会様よりご協力頂きました事に誌面をお借りし改めて御礼申し上げます。

◎当自治会の現状と今後の課題

- (1)ここ10年間で住民の高齢化や集合住宅の増加等による自治会内の環境の変化。
 - (2)東日本大震災などによる防災意識の高まりや近年の働き方改革、2020年からのコロナ禍等、社会を取り巻く意識や環境の変化。
- 高齢化や住民増、社会環境変化に対応した運営体制へ

◎今後の取組方針

社会変化に対応する為、「役員体制見直しを行う委員会」を設置し、自治会員皆様の意見を聞きながら、一步一步改善し、持続可能で安全安心に暮らせる自治会運営を目指したいと思います。

みんなの笑顔が集まる場所 地域の茶の間「こいってば」初釜開催

恒例の初釜を、コロナ禍ではありましたが、対策強化と規模を縮小し1月11日に開催しました。

楽しい雰囲気ですとひと時を過ごしていただけるよう企画し、季節の花や和菓子・抹茶などを準備して、普段通りの茶の間の行事として行いました。

参加者は11名でしたが、皆さん季節感を感じる和菓子をいただき、姿勢を正して抹茶を味わいながら「紅白の南天の白い実がめずらしいね」などと話に花が咲きました。来年もぜひ茶の間の行事に!との声が多くありました。



小針銀座自治会
会長 大井戸 洋一

小新第二自治会 地域の茶の間「こいってば」 運営委員 志賀 晶子